

～盛岡中心部で気持ちよく移動できる交通手段を～

平成27年度地域政策研究センター(地域提案型・前期)

課題名 : 盛岡市の中心市街地の活性化に寄与する交通まちづくりとLRTの導入
 研究代表者 : 総合政策学部 講師 宇佐美誠史
 課題提案者 : もりおか交通まちづくりLRTフォーラム 代表 戸舘弘幸
 研究メンバー : 佐藤秀公、加藤勝、成島英史(もりおか交通まちづくりLRTフォーラム)
 キーワード : LRT(Light Rail Transit)、中心市街地活性化、交通まちづくり

▼研究の概要

人口減少社会、ILCに向けて進んでいる中、県都盛岡市が来街者に魅力的な都市サービスを提供したい。

バス交通は30万都市にあって比較的便利な存在ではあるが、中心部での非効率運行や運転手の担い手の問題がある。

ILC誘致や台湾など海外からの観光客を増やしたり、生活者の利便性などを考えると、国際標準の公共交通機関であるLRT(次世代型路面電車システム)を代替案の一つとして検討してもよいのではないだろうか。



中の橋にLRT(CG)



バスとの乗り継ぎがスムーズ

LRTの特徴

- ・輸送効率性
一定の需要を一度に輸送できる、空間効率性も高い
- ・環境対応性
1人あたりCO₂排出量が少ない
- ・ユニバーサル性
免許を有しない、足が不自由、来訪者、外国人等が利用しやすい
- ・街なかでの移動しやすさ
駐車場を探す必要がない、飲酒ができる、低運賃など

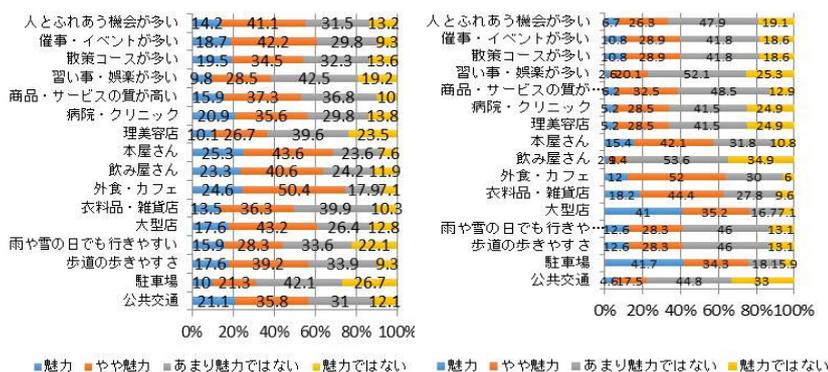


課題提案者作成のLRTマップ

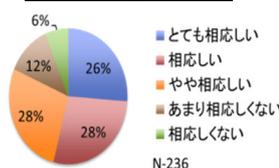
▼研究の内容

1. 盛岡市民対象に街の魅力を測るアンケートを実施
2. LRTや路面電車を有する20都市とそうでない県庁所在地の地価の推移を把握
(地価は街の魅力と関係があると考えられ、市にとって独自財源の柱となる固定資産税の基となるため)
3. LRT整備を進めている宇都宮市長を迎えて公開討論会の実施

結果1 中心市街地(左)と郊外(右)の魅力の違い



結果2 盛岡にLRTは相応しいか



結果3 LRT等導入都市とそうでない県庁所在地の地価の比較(単位%)

価格比 H27/H20	1.0以上	0.9以上 1.0未満	0.8以上 0.9未満
県庁所在地	8.7	50.0	69.6
LRT等導入都市	10.0	60.0	75.0

▼研究の成果 (右の図表を参照)

1. 市民にとって、中心市街地は多様な魅力であるが、郊外部は大型店や駐車場が特に魅力と感じられている。
2. LRTが盛岡に相応しいと思っている人が多い。
3. LRT等導入都市の方が、地価の減少割合が少なく、都市の魅力向上に寄与している可能性がある。

▼おわりに(まとめ・今後の展開)

1. LRT導入のためには、中心市街地の交通体系を再構築する必要があるため相当な困難を伴うが、多様な魅力を持つ中心市街地の移動手段を強化することは、県都の健全な発展のために重要なことと思われる。今後は、これまでの活動、調査結果などを整理してPRし、協力者を増やしていくことが重要である。
2. 調査実施にあたり、アンケートにご協力いただいた方々に感謝申し上げます。